

北海道自動車産業集積促進協議会 令和5年度取組の方向性(案)

北海道自動車産業集積促進協議会は、これまで関係者の連携の下、企業誘致や参入促進、人材の育成・確保等に向けた種々の取組を推進してきた。

そうした中で、令和4年度は、道内大手自動車関連企業の道内部品調達額は428億円となり、2年ぶりに過去最高を更新し、調達率は21.1%で過去2番目の高さとなった。また、道が東北7県と連携して実施している「とうほく・北海道 自動車関連技術展示商談会」は、3年ぶりに現地開催となり、具体の商談や今後の取引に繋がる成果があった。

令和5年度においては、今日の自動車産業を取り巻く環境の急速な変化等を捉え、以下の方向性により、各般の取組を効果的に進めていく。

1 自動車産業を取り巻く動き

- ・脱炭素化やデジタル化などの進展に加え、サプライチェーンの最適化の動き、人手不足の深刻化など、自動車関連産業を取り巻く環境は大きく急速に変化。
- ・特に、世界的にカーボンニュートラルの実現に向けた取組が進み、電気自動車などの次世代自動車の急速な普及が進展。
- ・こうした変化への対応や、新たに生じるビジネスチャンスを的確に捉えた取組が必要

2 取組の方向性

<目指す姿>

次世代自動車への対応の加速化と人材の育成・確保により本道自動車産業の競争力強化と更なる集積を目指す

<方向性>

2050年カーボンニュートラルの実現に資する、EVやPHEV、CASEやMaaS等の次世代自動車の基幹部品の生産拠点や研究開発拠点の形成を促進するため、3つの柱による取組を展開

(1) 基幹部品生産拠点形成を目指した取組

① 企業誘致の推進

次世代自動車の基幹部品関連工場等の誘致に向けたトップセールス、人材育成の支援、HPによる情報発信 等

② 地場企業の参入促進、域内取引の拡大

次世代自動車部品等を中心に、専門家による相談・指導、セミナー・実地研修、展示商談会の実施、参入可能性の高い企業の絞り込みと支援の強化 等

(2) 研究開発拠点形成を目指した取組

① 自動運転の実証試験誘致

北海道自動車安全技術検討会議における取組の推進 等

② カーボンニュートラルの実現に資する次世代自動車を見据えたチャレンジ

環境・エネルギー関連産業の技術開発や実証支援 等

(3) 部品生産・研究開発拠点形成を支える取組

① 人材の育成・確保

ものづくり産業の理解促進や大学生の地元定着、働きやすい環境の整備促進 等

② 各取組を支える環境づくり

商談会、交流会などを通じた東北7県との連携の強化 等